

The TOYAMA YMCA NEWS

2016/12月号

No. 208

■発行 公益財団法人 富山 YMCA

〒930-0046 富山市堤町通り 1-3-14

TEL:076 (425) 9001 FAX:(424)6937

■発行人 松田 誠一

■URL <http://www.ymcajapan.org/toyama/jp/>

■Email tutumi.kyoyu@toyamaymca.org

■第208号(通巻) 2016年12月12日発行



思い出深いクリスマス



私は1995年12月24日、座る場所がないほどの超満員の御聖堂で、大勢の信者さんや多国籍の方々が見守る中、洗礼を授けていただきました。受洗から20年もの歳月が経過しましたが、何度迎えても私にとってクリスマスは、実の誕生日に次ぐ2度目の誕生日というか、新たな命をいただいたような重要な記念日となりました。

思い起こせば20代後半、仕事は忙しくなる中、度重なる重荷と挫折で気持ちがマイナス方向に走り、いつの間にか出口の見えないトンネルに入り込んでしまっていました。男性が弱音を吐けなかった時代、自力で魂の救済をしようと古今東西の哲学書、宗教書を読みあさっていました。最終的にはいろいろな書物に記載されていました聖書の言葉に癒され、当然のように教会に出向いて直接お話しを聞きたい気持ちが強まり、勇気を出してカトリック教会のミサに足を運びました。

全く不慣れな私を気遣って、当時おられたイタリア人の老シスターが横に座り、付きっきりでご指導くださったことで、より魅力的な場所となりました。そして、今は亡き富山教会主任司祭のブファリーニ神父様へ取り次いでいただき、あっという間に洗礼に向けた要理の勉強が始まった事に神様の摂理と愛を感じずにはいられませんでした。4月の御復活祭後から要理の勉強が始まりましたが、一刻も早く教会の共同体の一員にないたい情熱が伝わったのか？週に一度の講義で7ヵ月後、私の希望通りクリスマスイヴの夜半ミサに洗礼式を執り行っていただきました。

いつも優しい眼差しで接してくださったブファリーニ神父様。私の挫折も悩みも全て受け止めてくださり、上手な日本語で「あなたは大丈夫。あなたの信仰は本物よ。神様があなたを教会に呼んだのですよ」と語りかけていただきました。洗礼名も神父様にお任せし、3月生まれとのことで『ヨゼフ』を命名いただきました。名前負けしないように聖ヨゼフの祈り「沈黙と謙遜はあなたのものでした。誠と愛とはあなたの命でした～」に生涯かけて近づけるように努力の最中でございます。

心から尊敬し、人生の師、心の拠り所としていたブファリーニ

神父様が乗車中に不慮の事故に遭遇され、長きにわたる入院生活を余儀なくされました。ベッドの上で言葉も発せず虚ろな表情で過ごされ、90歳を過ぎた超高齢の神父様はもう祭壇に立たれることは不可能だろうと誰もが悲しみに暮れながら代理の神父様のミサに与っていました。

数々の困難を乗り越えて日本で宣教活動されたブファリーニ神父様は、こんなことで幕引きされるはずはないと、私は復帰されて祭壇で司式されているお姿をしっかりとイメージし祈り続けました。リハビリを頑張られた結果、会話もでき車椅子ですが身体を起こして動けるようになった時は祈りが叶えられたと純粋に喜びました。

ブファリーニ神父様自身、クリスマスには教会に戻り司式したいと強い信念を持っておられたようです。その情熱が天に届き精霊が働いてくださったのでしょうか？復帰後、初のクリスマス夜半ミサは大粒の雪が降る中、一旦外のスロープを使うため頭から雪をかぶりながら御聖堂に入られました。

御聖堂中央の通路を車椅子で祭壇に向かう神父様に会堂からは大きな拍手が沸き起こり、涙ぐむ信者さんも見受けられました。その時、車椅子を押していたのが私でした。進んでその役目を名乗り出た次第です。司式中、どうしても立ったり座ったりの場面に備え、介助のために傍にいたことも今では名誉なご奉仕となったと思えます。

クリスマスには小さな奇跡、ささやかなお恵みが頂けるのだとつくづく思い、天の御父に感謝せずにはいられませんでした。何度クリスマスを迎えても我が師、ブファリーニ神父様を思い起こし、語りかける記念日となったようです。まだまだ未熟者の私に天国か御指導、御加護をお願いしますとお祈りするばかりです。そしていつの日か天国で再会したいと願っております。

聖霊の交わりの中で、あなたと世々に生き、支配しておられる御子、私たちの主イエス・キリストの御名によって アーメン

阿部 裕二 (カトリック富山教会)

【参加者募集中】カンボジア・ベトナム ピースキャンプ

今年度もカンボジア・ベトナムピースキャンプを下記の日程で実施します。20世紀に経験した大きな内戦や戦争での負の遺産を負いつつも、急速に進むインフラ整備など経済発展著しいインドシナの活力と歴史、文化に触れます。特に子どもたちの現状から平和を築くことの大切さを学びたいと思います。



■日程：2017年2月14日(火)～21日(火)

7泊8日

■対象：大学生、専門学校生、一般

■定員：10名(最低催行人数5名)

■場所：カンボジア；シエムリアップ

ベトナム；ホーチミン

■内容：アンコールワット・トムの見学、日本語教室

訪問、ベトナム戦争証跡博物館、クチトンネル、市内観光

■費用：230,000円(交通費・食費、滞在費、保険料、プログラム費、空港使用料)

※費用に含まれないもの(ドリンク代、個人的な費用、ビザ申請費用)

■説明会：堤町本館にて

第一回 12月24日(土)午後2時～

第二回 1月14日(土)午後6時～

■申し込み締め切り：最終1月14日(土)

■問合せ：076-425-9001 堤町本館(担当：土肥)



写真

上：背景/アンコールワット

右：カンボジアの日本語学校の生徒と先生

※キャンセル規定など、詳細はチラシをご覧ください。



カマキリコラム

NO.56

松田 誠一

(富山 YMCA 総主事)

やさしいベツレヘムの人たち

教会の祈禱会の聖書研究の中で、心温まるお話を聞くことができました。榊原康夫先生の「ルカ福音書講解」では、クリスマスの場面の理解について、日本語に訳することによって、随分解釈が変わってしまったのではないかというお話です。まず皇帝アウグストゥスは当時、救世主的存在で、全世界の人民に対し、登録を行なうように指示しました。それによってマリアもヨセフもベツレヘムへやってきました。「ベツレヘムではマリアとヨセフが泊まる宿(カタルマ)がなかった」とありますが、

おそらく「カタルマ」とは仮の場所とも解釈されます。つまり全国から集まってくる人民に対し準備してあった震災時の体育館の避難所のような泊まる場所は確保されていたのですが、「出産する場所」がなかったと理解できます。またイエスが生まれてすぐに寝かされた有名な「飼い葉桶(ファトネー)」ですが、これは広い意味で「家畜小屋」という意味でもあるということです。避難所のような場所では、とても出産できなかったために、飼い葉桶に寝かせたという解釈ではなく、仕方なく家畜小屋を借りたとも考えられます。よく降誕劇の中で、出産間近のマリアがベツレヘムの宿屋の前で、満室だからということで門前払いされるような場面が演じられますが、もしかしたら間違った理解ではなかったのか、少なくともベツレヘムの人たちは出産の場所を急遽提供してくれたと考えれば、とても嬉しくやさしい気持ちになれます。また、すべてを神様に委ね信じていたマリア、ヨセフも「若い十代か二十歳そこそこであった」というリアリティのあるお話を聞けば、そのやさしさ、信仰の強さも驚きです。

いずれにしても、真実は、神様の子ども、真の王と言えども、生まれた場所は王室でも清潔な病院でもない家畜小屋であったということです。人間として最悪の環境の中で生まれ、最後は十字架につけられるという苦しみの中にあつたイエスの生涯は、今を生きる私たちのすべての苦しみと罪とを贖ってくださるためのものでした。昨今、バレンタインやハロウィン、そしてクリスマスとお祭り好きな日本人ではありますが、本当の意味を理解することで、もっと幸せになれるのではないのでしょうか。一度お近くの教会で本当のクリスマスをご体験ください。メリークリスマス！



クリスマスツリー 「ひとつ増えた楽しみ」

★★★★★

11月27日からアドベントに入り、あちこちでクリスマスの飾りつけがキラキラと温かい光を放っています。ふなはし保育園の玄関外にも地域の方の協力で、大きなモミの木が設置されました。また、玄関前のロビーにもクリスマスツリーとクラウンツが飾られ、毎朝登園するこどもたちが飾りつけを触ったり、クリスマスソングを聞いたり楽しみが1つ増えました。

各お部屋にも、アドベントカレンダーを飾り、毎日日付の入った窓や扉を開けると中からクリスマスを楽しんでいる様子や動物の絵が出てきます。保育園の行事、生活発表会も無事終え、クリスマスの行事に向けて、先生方が準備を進めています。

毎年、年末のあわただしい時期であっても、わくわくしながらプレゼントを想像したり、パーティの料理を考えたりと楽しみな日々が近づいて来ます。世界中が平和で優しい気持ちでクリスマスを迎えられるように願います。

ふなっ子NEWS

土肥 和美

(ふなはし保育園施設長)



わいわい萩っ子

杉村 侑子

(4歳児担当)



萩浦保育園 12・1月の行事

12月22日(木) クリスマス

1月10日(火) ミュージックケア (3歳以上児)

12日(木) 冬の自然体験 (年長児)

17日(火) 誕生会

19日(木) 冬のお楽しみ会



クリスマス工作

「もうすぐ12月だね」「早く雪降らんかな」と元気いっぱいワクワクの子ども達。

集まりの時間に「12月は何の行事があるかな?」と訊ねると一斉に「クリスマス!!」と元気な声が返ってきました。そこで、年中児はクリスマスに向けて牛乳パックとカラーセロハンを使った飾りを作りました。

早速カラーセロハンを手にとると、そこは不思議な色の世界!「〇〇ちゃんの顔がピンクに見える」「赤と青を合体させたら紫になったよ」と様々なことに気づき、目を輝かせて教えていました。

飾りの作り方は、三角形に切った牛乳パックに好きな色のカラーセロハンを貼り、組み合わせて完成です。カラーセロハンの薄さに悪戦苦闘し、「変な所にくっついたー」「やぶれたー」と言いながらもその表情はみんないきいきしていました。出来上がった飾りを光に透かして「きれいー」「かわいいー」とうっとり…♥

「サンタさん、早く来んかなあ」と楽しみにしている子ども達です。❀



YMCA 国際協力募金

オリーブの木キャンペーンを 知っていますか？



パレスチナの人々は 70 年近くイスラエルの支配によって自由な移動や活動を制限され、不当な逮捕や攻撃、家を追われ難民になるなど、心身共に厳しい状況に置かれています。国連パレスチナ難民救済事業機関によるとパレスチナ難民は約 500 万人とされています。

東エルサレム YMCA は難民のための組織としてパレスチナ人によるパレスチナ人のための YMCA として、1949 年に設立されました。心身に傷を負った人のためのリハビリテーション、職業訓練、地域リーダーシップ育成支援などを行っています。さらに「平和への道筋・希望」としてオリーブの苗木の植樹活動も行っています。パレスチナの人々にとってオリーブの木は「生命の木」とも言われ、世界各地からの支援により 109,550 本のオリーブの木が植えられました。そのうち 1,000 本以上が日本のYMCAを通して贈られた木です。

3,000 円で1本のオリーブの木を贈ることができます。パレスチナの地に真の正義と平和が訪れることを願い、キャンペーンへの参加をお願いします(参照:別チラシ)。

第6回会員定例会のお知らせ

「お酒と健康」

～年末年始の心得～

早いもので2016年も師走となりました。新しい年を迎える準備はいかがでしょうか。忙しい年末年始は、なにかとお酒をたしなむ機会が多いものです。今回の会員定例会は、酒類業界に30年勤務されていた高道さんをお招きしてお酒と健康について話していただきます。多くの方のご出席をお待ちしております。



■とき：12月19日(月) PM7:00～9:00

■ところ：堤町本館1階 めくもりラウンジ

■講師：高道 俊彦(日本ソムリエ協会公認ワインアドバイザー、SSI日本酒きき酒・日本地ビール協会公認ビアテイスター)

■参加費：500円(コーヒー&スイーツ付)

《問合せ》 富山 YMCA 堤町本館(担当：土肥、宮崎)



第26回 富山市民 クリスマス

クリスマスメッセージとコンサート

日時：12月16日(金)PM7:00～

場所：富山市民プラザ

アンサンブルホール 入場無料



メッセージ 長谷川 潤 神父(カトリック富山教会)
日本語による抜粋演奏 ヘンデル作曲 **メサイア(救世主)**

主催：富山市民クリスマス実行委員会 共催：(公財)富山 YMCA

後援：富山県、富山市、北日本新聞社、(一社)富山県芸術文化協会

■12・1月活動のご案内■

語学

◆12/16(金)～22(木) お楽しみクリスマスウィーク

ウエルネス

◆12/10(土)～16(金) ワッペンテスト

駅前センター(フリースクール)

◆高校受験のための冬季集中講座

12/26(月)～29(木)、1/5&6日

大学受験のための冬季集中講座

12/21(水)～29(木)、1/5&6日

Y's さくらカフェ

◆12月ランチ定食メニュー [700円]※ランチは毎週火曜日のみ
+100円で飲み物(コーヒー・紅茶・ハーブティ)がつきます。

13日(火) 鯖南蛮あげ・そうめんサラダ・じゃがいもチーズ焼・スープ

20日(火) 鳥唐揚げ・かぼちゃ甘煮・マカロニサラダ・みそ汁

◆1月は10日(火)から営業予定です。

◆イングリッシュカフェ(木)14:20～15:20 一般1500円、会員1200円

要予約：076-431-5588(駅前センター受付)

外国人講師と楽しい会話の時間をお過ごしください。



ふ・ふ・ふ フリースクール

NO.13

今年も残すところあとわずか。受験生にとってはセンターまで1ヶ月あまり。「勉強する気起きない」と言っているかと思えば、問題集に向かっている。「やる気になっているな」と思っていたら、目の前にバナナを頬張りながら通っていく子がいる。なんとも微笑ましい限りである。彼らの辞書には、「焦り」という言葉は存在しないのかもしれない。(小田)

年末年始休館のお知らせ

年末・年始は下記の期間、休館いたします。

堤町本館 & 駅前センター

12/30(金)～1/4(水)

